

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知る区ロード			整理番号	537		枝番号			
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220503		連絡先電話番号	3363			
係名		景観係		上位施策名				No			
予算事業名		杉並「知る区ロード」		コード	52500		住民参加のまちづくり		3		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			62 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区まちづくり基本方針							
	区民等			(2)							
				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
歩いて杉並を知る「知る区ロード」というルート上の目印(道標)やルート沿いの休憩所(オアシス)を維持管理・整備する。「知る区ロード」を活用したイベントを開催し、まちについてのマガジンを発行する。					自由に楽しく歩きながら、自分の住むまちや、まちの資源を知り、親しみを持ってもらうようにする。						
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 知る区ロード探検隊参加者数					(1) (代)探検報告数 / 探検隊参加者数						
(2) すぎまるマガジン発行部数					(2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	1,024	863	2,000	747	2,000	2,000	37.4	
	活動指標(2)		部	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0	
	成果指標(1)		%	9.4	5.2	20.0	11.4	20.0	20.0	57.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,025	5,286	6,538	5,005	5,636	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	1,281	973	1,000	998	1,000			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.70	0.80	0.80	0.80	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,296	7,280	7,248	7,248			7,248
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	13,321	12,566	13,786	12,253	12,884			
	単位あたりコスト( - )÷		円	13,009	14,561	6,893	16,403	6,442			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	13,321	12,566	13,786	12,253	12,884				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		知る区ロードの日(イベント)の開催					1	日	1,899		
		すぎまるマガジンの発行					5,000	部	2,271		
		オアシス(休憩所)の施設修繕					3	箇所	835		
		その他 ( )							0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	37.4	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	76.6
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民ボランティアである「すぎまるサポーター」がイベントの企画内容を決めたり、イベントの運営を区とともにやった。また、すぎまるマガジンの内容・記事の取材等についてもサポーターの協力があつた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初の知る区ロード探検隊員数は、約4,000人。その後、最高時は約10,000人であったが、最近は減少している。また、当初の目的が薄れ、カードゲーム・グッズ集めに走ってしまっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夏休みに行われる知る区ロードのイベントを楽しみにしている声がある一方、暑い中、長い距離を歩くことに対して実施時期の検討要望がある。					
	今後の予測	自分のまちの魅力を再発見するというこの事業の役目は終わった。今後は、区民が自主的にイベント等の運営を行い、区は側面から支援していく体制をとる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:知る区ロード事業字体がストレートにまちづくりに結びつくわけではないが、杉並独自のソフトなまちづくりとして全国的に知名度が高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 周知の仕方を工夫することによって、参加者を増やす。  理由または具体的内容:小学生とその家族が主な対象になっているが、周知の仕方・イベント内容によっては歩くことに興味がある団塊の世代の参加が見込める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 休憩所(オアシス)等の施設維持管理は区が行う。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 区民が主体となってイベントを企画・運営し、区が補佐をするという方法で、コスト・人員を減らすことが可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 イベント内容の提案・実施を区民との協働で行っている。区民(すぎまるサポーター)が主体的に企画・運営に関わるようになってきた。今後は、すぎまるサポーターの人員の確保とその育成が必要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度の20周年記念事業を最後に、区主催による杉並「知る区ロード」事業を区民等主催の事業に移行することを決定している。20年度以降は、主催となる区民(すぎまるサポーター等)を、区は側面から支援する。日常の問い合わせ、道標・休憩所の維持管理は区が継続して行う。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 主催となる区民(すぎまるサポーター等)が主体的に企画運営できるよう育成する。主催を区から円滑に移行するために一定のルールを決める必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
(2) 理由 19年度は20周年にふさわしい記念事業を行うため。							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちづくり活動支援				整理番号	539		枝番号			
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220500	連絡先電話番号	3362		昨年度整理番号	529		
係名		管理係		上位施策名				No				
予算事業名		まちづくり施策の推進		コード	52700		住民参加のまちづくり		3			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区まちづくり条例							
	区内において自主的なまちづくり活動を行おうとする区民等の団体		(2) 杉並区街づくり支援要綱									
	区内において自主的なまちづくり活動を行おうとする区民等の団体		(3) 杉並区まちづくり協議会運営費助成金交付要綱									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		まちづくり条例に基づき、以下の3制度により、地域でのまちづくり活動を支援する。街づくり活動助成制度=自主的な街づくり活動を行う団体へ活動経費の一部を助成 街づくりコンサルタント派遣制度=街づくりの専門家の派遣 まちづくり協議会運営費助成制度=認定された協議会へ運営費の一部を助成。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) まちづくりの気運を高め、地域住民の交流及び生活環境の向上を図るため、地域の住民主体によるまちづくりルールの作成など積極的にまちづくり制度を活用することができる団体を育成する。								
活動指標名(式)		(1) 活動助成団体数 (2) コンサルタント派遣件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体	13	8	15	5	15	10	50.0		
	活動指標(2)		件	21	14	30	15	30	30	50.0		
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,070	2,470	3,236	1,859	3,684	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) * 活動助成・コンサルタント派遣については、11年度まで「まちづくり公社」で実施。公社解散後、平成12年から区で実施。 * 平成15年度「まちづくり条例」施行。新たに、協議会助成を加え、活動助成・コンサルタント派遣の3つの制度が条例に基づく支援として位置付けられた。			
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,195	7,280	7,248	7,248	4,530				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,265	9,750	10,484	9,107	8,214				
	単位あたりコスト( - )÷		円	712,692	1,218,750	698,933	1,821,400	547,600				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	9,265	9,750	10,484	9,107	8,214					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		街づくりコンサルタント派遣				15	回	585				
		まちづくり活動助成				5	団体	500				
		まちづくり協議会運営費助成				2	団体	200				
		その他 ( )						574				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	33.3	活動指標(2)の17年度達成率%	50.0	17年度予算執行率%	57.4
		活動助成団体が5団体に減少したため。コンサルタント派遣は3団体からの派遣申請にとどまるとともに、計画案を作成する団体がなかったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		まちづくり条例のパンフレットを作成し、まちづくり支援に関する制度内容についての周知を図った。街づくり活動助成団体の活動内容の紹介及び条例・支援制度について区役所ロビーでのパネル展示を実施した。 コンサルタント派遣団体から、計画案作成の依頼があり、住民主体のまちづくりに貢献することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・活動助成団体数 H12:12 H13:12 H14:15 H15:13 H16:8 H17:5 ・コンサルタント派遣回数 H12:6 H13:8 H14:5 H15:21 H16:14(計画案作成:1) H17:15 ・協議会助成団体数 H15:1 H16:1 H17:2					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	活動助成については、助成額・助成項目について拡充の要望がある。					
	今後の予測	条例の施行により、地域のまちづくりに関して区民の自主的な研究・活動への制度の整備は整ったが、具体的なまちづくり活動に移行できる団体はまだ少ない。今後も、まちづくり活動につながる地域での各団体・個人のつながりを大切にした活動への支援を行っていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 区民の自主的なまちづくり活動に対し、まちづくり条例に位置付けられた技術的・経済的支援をすることで、より区民のまちづくりへの参画を促進できる					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 支援制度を区民に周知し、より多くの区民に活用してもらえよう、条例についてのPRを行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 身近な地域環境の改善・向上を図る目的で行われる区民の自主的なまちづくり活動を支援するものであり、受益者負担にはなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: まちづくり活動は区民・事業者・区の協働のもとに推進される必要がある。とりわけ区民の参画を促進するためには、区によるさまざまな支援が必要である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 まちづくりは地域住民が自らの手で行うものであるという意識を浸透させることができつつあるが、地域でのまちづくり活動が一層活発に行われるよう、自主的なまちづくり団体を育成するために、支援制度活用の促進を図る必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度に作成した、まちづくり条例及び支援制度のパンフレットによりさらに制度について周知を図り、支援制度のさらなる活用の促進を図り、より多くの区民に身近な地域での区民自身によるまちづくり活動が実践されるよう支援していく。 助成制度については、補助金の見直しの対象となっており、その内容にあわせ助成団体等も含め制度について検討を行う。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動助成については、「ハード面での街づくり」と「ソフト面でのまちづくり」との整理、他課の助成制度との調整が必要。支援制度の活用により、まちづくりへの第一歩である地域での各個人でのつながりを、まちづくり条例に基づくまちづくりへとつなげる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 現状の予算の中で、支援制度活用の拡充を図る。						